一般質問



薄井孝彦

1. 松本盆地の地下水資源の保全対策を

問 日 安曇野市にある田淵行男記念館の湧水池が今冬枯れた(写真)。 松本盆地の地下水資源の危険信号として捉え、地下水保全のために 町からアルプス地域地下水保全対策協議会(※)に対し、「地下水 揚水の規制を」の提言を。

<住民課長>

アルプス地域地下水保全対策協議会に話題として出していく。

※ 松本盆地の地下水を将来にわたり保全していくために協議する組織。 関連11市町村(池田町も構成員)及び長野県で構成。

問2 安曇野市長は「地下水揚水量について地域全体で考える時期に来ている」と議会で表明している。町長は安曇野市長と地下水対策について話をして欲しいが。

<町長>

安曇野市長と意見交換しながら保全対策を検討し ていく。

問3 今春から大町市に新たな地下水飲料工場が稼働する。同工場の地下水揚水の町地下水への影響を把握するため、町内地下水の水位データー収集を。また、ロープ式水位計を購入し、水位データーを調査して欲しいが。

<住民課長・町長>

町内地下水の水位データーは収集する。ロープ式

水位計は精査する。



写真 枯れた安曇野市 田淵行男記念館 の湧水池 (2021年3月19日撮影) 記念館 | 階前の湧水池は例年冬でも 10cm程度の水深であった。今冬、湧水が 枯渇し池底が露出した。

2. 町振興の取り組みを

問し旧上原商店の跡地利用の推進を。

<町長> 現在、引き合いがあり、具体化すれば決まり次第 報告する。

問2 コロナ禍あけに向け、レンタサイクルによる観光施策 の準備を。

<産業振興課長> 議員提案(※)(起点:創造館~アルプス展望の道~終点:ハーブセンター)も参考に、関係者で協議し、準備していく。

※車は創造館に置き、普通自転車使用、ハーブセンターからは代表が電動自転車で創造館に車を取りにいく。



写真 穂高駅前のレンタサイクル店 コロナ禍のなか安曇野市観 光協会のレンタサイクルの 利用件数は対前年比で1.5倍 に増えた。

3. 町財政再建の取り組みを

問I 会染西部圃場整備非農地の活用整備及び会染保育園の施設整備の財政への影響は。 また、整備の考え方は。

<町長> 両工事を各5億円で整備しても実質公債費比率は16.4%を超えない試算であるが、費用は抑えていくよう検討する。

問2 町職員数の増減計画について議会に説明がない。12月定例会までに説明を。 <町長> 今後は議会と相談していく。

問3 今後の美術館・クラフトパークについて町民の意見を聴く場の設定を。 **<町長> 町民の意見は聴いていく。**